

平成27年度
山内図書館事業報告書

有隣堂グループ

2016/05

目 次

1. 山内図書館の基本方針	2
(1) 山内図書館の概要	
(2) 指定管理者	
(3) 山内図書館のコンセプト	
2. 5年間の達成目標	3
3. 平成27年度の事業報告	
(1) 運営目標と振り返り	3
(2) 具体的な取り組み	
ア 利用者サービス	4
イ 業務運営	5
ウ 職員育成	6
エ 財務	7
4. 決算	8
別紙1. 平成27年度山内図書館自主企画事業実施事業月別一覧	
別紙2. 平成27年度山内図書館学校連携活動報告	
別紙3. 平成27年度山内図書館建築・設備の保守管理表	

1. 山内図書館の基本方針

(1) 山内図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造 規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4,433㎡)
延床面積	2,147㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(201,142冊 平成27年3月末)と規模の大きい図書館です。平成22年度から26年度までの第一期は有隣堂グループが指定管理者として管理運営してまいりました。平成27年度から31年度の第二期についても引き続き有隣堂グループが指定管理者として運営してまいります。

(2) 指定管理者

名 称	有隣堂グループ
所 在 地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代 表 団 体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信裕
構 成 団 体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生宣昭
指 定 期 間	平成27年4月1日～平成32年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

(3) 山内図書館のコンセプト

“地域” をサービスフィールドに！

生活密着図書館「Liferary」

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」のもとで「地域連携」という新たな課題が示されました。平成27年度から平成31年度の5年間は、積極的な地域との連携を図り

ます。民間ノウハウ・民間能力を十分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感あふれる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

2. 5年間の達成目標（平成27年4月～32年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の読書活動を推進し、読書活動を通じた“まちづくり”“ひとづくり”を進める。
- (2) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構成に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行う。
- (3) 利用しやすい図書館づくりの促進

3. 平成27年度の事業報告

(1) 運営目標と振り返り

平成27年度は、「青葉区民読書活動推進目標」等を踏まえ、次の運営目標に基づき、具体的な取り組みを進めました。

また、横浜市立図書館において毎年策定される「横浜市立図書館の目標」及び「年間資料収集計画」の平成27年度版に基づき、横浜市立図書館の18館のうちの1館としての水準を維持し、さらなる向上をめざして、他の地域図書館と同様にネットワーク体制を支えるサービスを展開しました。

	平成27年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利 用 者 サ ー ビ ス	(ア)区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携して地域の読書活動を推進します	・ボランティア支援事業 ・地域との連携事業 ・学校連携事業	2回 15回 150回	2回 17回 209回
	(イ)読書活動推進のために区内の読書活動拠点のネットワークを構築します	・読書活動推進担当の配置 ・あおば読書活動推進の会 ・読書活動イベントカレンダーの作成	担当配置 2回 作成	担当配置済 2回 作成及び更新9回
	(ウ)快適な読書空間を提供します	・前庭の一部にウッドデッキを設置	設置	設置済
	(エ)市民の必要とする情報を収集するとともに、課題解決の支援を行います	・課題解決支援自主企画事業 ・商用データベース利用 ・大学との連携事業	10回 5.0%増 2回	12回 6.7%増 2回
	(オ)多様化する情報媒体へ対応し、幅広く情報発信していきます	・新たな情報発信ツールとしてFacebookを開始	開始	未開始

イ 業務運営	(ア) コンプライアンスの徹底を図り、利用者満足度の向上に努めます	・利用者アンケート満足度	総合満足度 80%以上	総合満足度 90%
	(イ) 危機管理、安全衛生管理を徹底し、快適な図書館をつくりま	・事件・事故を想定した危機対応研修 ・地区センターとの合同防災訓練	1回 1回	1回 1回
	(ウ) 個人情報保護の考え方をスタッフ全員に周知徹底し、個人情報を適正に管理します	・個人情報保護教育	2回	2回
ウ 職員育成	(ア) スタッフへの教育・研修を実施し、能力向上・意欲の維持向上に努めます	・郷土史家を講師に招いた研修会の開催	2回	2回
		・接遇研修 1回	1回	1回
エ 財務	(ア) 予算内に経費を抑え、効率的に管理します	・自動販売機の手数料見直しによる収入増 5%	5%	30%

(2) 具体的な取り組み

ア 利用者サービス

(ア) 地域の読書活動推進

- ・読書活動推進担当者を1名配置し、図書館の読書活動の企画や運営にあたるとともに、青葉区内の各市民利用施設が開催する読書イベントや読書ボランティアの支援を行いました。
- ・青葉区役所の地域振興課と「読書活動推進事務局会議」を11回開催し、青葉区における読書活動推進について話し合い、各市民利用施設と協力して読書活動を行いました。
- ・読書活動推進の有効なツールとしてビブリオバトルの普及活動を行いました。平成27年度は、ビブリオバトルに関する理解とビブリオバトルを開催する際の進め方を知ってもらうために、ワークショップ型のビブリオバトル体験講座を開催しました。また、「本棚編集」や「まちよみ」といった他の読書活動と組み合わせたビブリオバトル講座も開催しました。区内の地区センターや地域ケアプラザでのビブリオバトル開催にあたっては、企画の相談や司会を担当するなどの支援を行いました。
- ・学校連携担当者を中心に職員が一丸となり学校連携事業に取り組みました。児童・生徒に対する直接サービスとして、図書館見学や職業体験を受け入れ、学校に訪問して読み聞かせやブックトークを行いました。学校図書館ボランティアや学校司書を対象に修理・製本、読み聞かせ、環境整備に関する講座を開催

しました。教職員を対象には、読書活動や学校図書館の環境整備に関する相談に応じました。教職員への貸出は、平成26年度比36%増となっています。

- ・読み聞かせと工作の会を開催するにあたり、青葉区内の大学生に参加を呼びかけ、学生ボランティアが活躍する場を提供しました。

(イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・平成27年度は、青葉区内の読書貸出22施設に参加を呼びかけ、「あおば読書活動推進の会」を2回開催しました。各施設の読書活動について情報を共有し、月刊の「読書のイベントカレンダー」を7月より作成開始しました。カレンダーは印刷して配布するとともに、山内図書館と青葉区役所のホームページから閲覧できるようにしました。
- ・図書貸出施設で活動する修理ボランティア育成のために、青葉台コミュニティハウスで修理製本講座を開催しました。

(ウ) 快適な読書空間の提供

- ・前庭にウッドデッキを設置しました。戸外で読書する空間として、また飲食スペースとして利用されています。
- ・施設管理のスタッフが図書館内を1日3回、図書館職員が1日5～7回巡回して防犯および安全管理に努めました。

(エ) 課題解決の支援

- ・図書館の使い方を知ってもらうために、大人のための調べ方講座を年3回開催しました。子ども向けには、出版社と連携して、百科事典およびインターネット百科事典を使った調べ方講座を開催しました。

(オ) 幅広い情報発信

- ・図書館を紹介するプレゼンテーション資料を電子版と冊子体で作成し、図書館案内等に使用しました。
- ・図書取次サービスのチラシを区役所から転入者に配布してもらい、新しく住み始めた人に広く取次サービスを知ってもらうよう努めました。

(カ) その他

- ・青葉区役所、奈良地区センター、および区民交流センターに図書館の出張ブースを設けて図書館カードの発行を行い、新規登録者を獲得しました(55人)。

イ 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底

- ・職員・アルバイト全スタッフが、有隣堂のエシックスカードを常時身に付け、企業行動指針を復唱しました。また、コンプライアンス内部監査の実施により、法令遵守と倫理の徹底を図りました。
- ・ホームページで、「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「図書館利用者満足度調査報告書」「セルフモニタリング」「横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書」といった山内図書館の運営情報を公開しました。図書館利用者満足度調査の結果はパネルを作成し、展示でも紹介しました。

(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・職員会議を毎週開催し、図書館運営上の課題を話し合い改善につなげました（開催数48回）。
- ・職員とアルバイトスタッフの代表で月1回話し合いをもち、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決につなげました。
- ・カウンターや通勤途上の危機管理として、県警OBを講師に招き、職員を対象とした護身術の講座を開催しました。
- ・併設の山内地区センターと施設管理、図書館の3者が定期的集まり（年4回）、危険個所や利用者からの苦情・提案の情報共有を図り、連携を強化しました。
- ・併設の山内地区センターと合同で防災訓練（AED研修）を行いました。

(ウ) 個人情報の適正管理

横浜市立図書館個人情報保護に関する方針及び有隣堂個人情報保護方針に基づき個人情報の収集・利用・管理について、適切な維持管理を行うよう努めました。しかしながら、1件個人情報を含む予約連絡票の流出事故があり、返却本の徹底チェックをすすめました。また、個人情報を含まない新レイアウトの予約連絡票への切り替えを完了させました。

次に挙げる個人情報保護に関する教育、監査、点検を実施しました。

- ・テスト（個人情報保護全社教育確認シート記入）の実施 年2回
- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査 年1回
- ・個人情報棚卸（リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策） 年2回

(エ) その他

- ・有隣堂本部と館長による職員・アルバイトの評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげました。
- ・建築物・建築設備ともに維持管理計画表に基づき点検を実施しました（別紙1）。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前の予防保全を行っていきます。
- ・「総括表」の点検入力表（建築）（電気）（機械）の点検結果に基づき、優先順位をつけ、計画的な修繕を実施しました。

ウ 職員育成

(ア) スタッフへの教育・研修

- ・職員を対象に郷土資料研修を行い、また、外部の研修に郷土資料担当が参加しました。
- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会主催の研修に参加し、それぞれの専門性を向上させました。
- ・人権および接遇の研修として、認知症サポーター養成講座を職員全員が受講し認知症の方への理解を深めました。

エ 財務

(ア) 効率的な管理

- ・ 予算内に経費を抑え、効率的に管理しました。
- ・ 収入については、自販機業者も変更したことで、売上手数料収入が30%アップしました。支出については、光熱水費の削減に取り組みました。電気会社を変更し、電気料金を平成26年度に比べ13%削減できました。

(イ) その他

- ・ 山内堂は、絵本及び絵本に関するグッズを販売しましたが、昨年の売り上げを上回ることができませんでした。

4. 決算

(指定管理者が記入する様式)

平成27年度 「横浜市山内図書館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	175,096,980		175,096,980	175,096,980	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	40,000		40,000	182,025	△ 142,025	
自主事業収入			0		0	
雑入	500,000	0	500,000	523,208	△ 23,208	
自動販売機手数料等	500,000		500,000	523,208	△ 23,208	
その他 ()			0		0	
収入合計	175,636,980	0	175,636,980	175,802,213	△ 165,233	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	77,621,500	0	77,621,500	78,394,017	△ 772,517	
給与・賃金	66,300,000		66,300,000	66,676,040	△ 376,040	
社会保険料	6,961,500		6,961,500	7,143,254	△ 181,754	
通勤手当	4,100,000		4,100,000	4,335,723	△ 235,723	
健康診断費	260,000		260,000	239,000	21,000	
事務費	5,232,000	0	5,232,000	4,872,265	359,735	
旅費	300,000		300,000	196,620	103,380	
消耗品費	1,800,000		1,800,000	1,752,375	47,625	
通信費	600,000		600,000	567,758	32,242	
使用料及び賃借料	12,000		12,000	11,186	814	
備品購入費	290,000		290,000	317,520	△ 27,520	
雑誌・新聞購入費	2,060,000		2,060,000	1,894,709	165,291	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	117,960	2,040	
職員等研修費	50,000		50,000	14,137	35,863	
事業費	11,312,400	0	11,312,400	11,138,120	174,280	
自主事業費	4,800,000		4,800,000	4,625,720	174,280	
自主事業費	6,512,400		6,512,400	6,512,400	0	図書取次サービス
管理費	54,931,080	0	54,931,080	53,505,982	1,425,098	
光熱水費	23,000,000	0	23,000,000	20,923,594	2,076,406	
電気料金	13,400,000		13,400,000	12,635,712	764,288	
ガス料金	5,000,000		5,000,000	3,500,764	1,499,236	
水道料金	4,600,000		4,600,000	4,787,118	△ 187,118	
清掃費	10,076,400		10,076,400	10,076,400	0	
修繕費	1,500,000		1,500,000	1,635,108	△ 135,108	
機械整備費	864,000		864,000	864,000	0	
設備保全費	18,490,680	0	18,490,680	18,490,680	0	
空調衛生設備保守	2,289,600		2,289,600	2,289,600	0	
消防設備保守	280,800		280,800	280,800	0	
電気設備保守	2,067,120		2,067,120	2,067,120	0	
害虫駆除清掃保守	124,200		124,200	124,200	0	
建築設備保全費	12,756,960		12,756,960	12,756,960	0	
その他保全費	972,000		972,000	972,000	0	
共益費	1,000,000		1,000,000	1,516,200	△ 516,200	施設改修費(ウッドデッキ他)
公租公課	6,540,000		6,540,000	6,540,000	0	
事務経費	20,000,000		20,000,000	21,000,000	△ 1,000,000	
支出合計	175,636,980	0	175,636,980	175,450,384	186,596	
差引	0	0	0	351,829	△ 351,829	